

せたがや 区議会だより



No.148

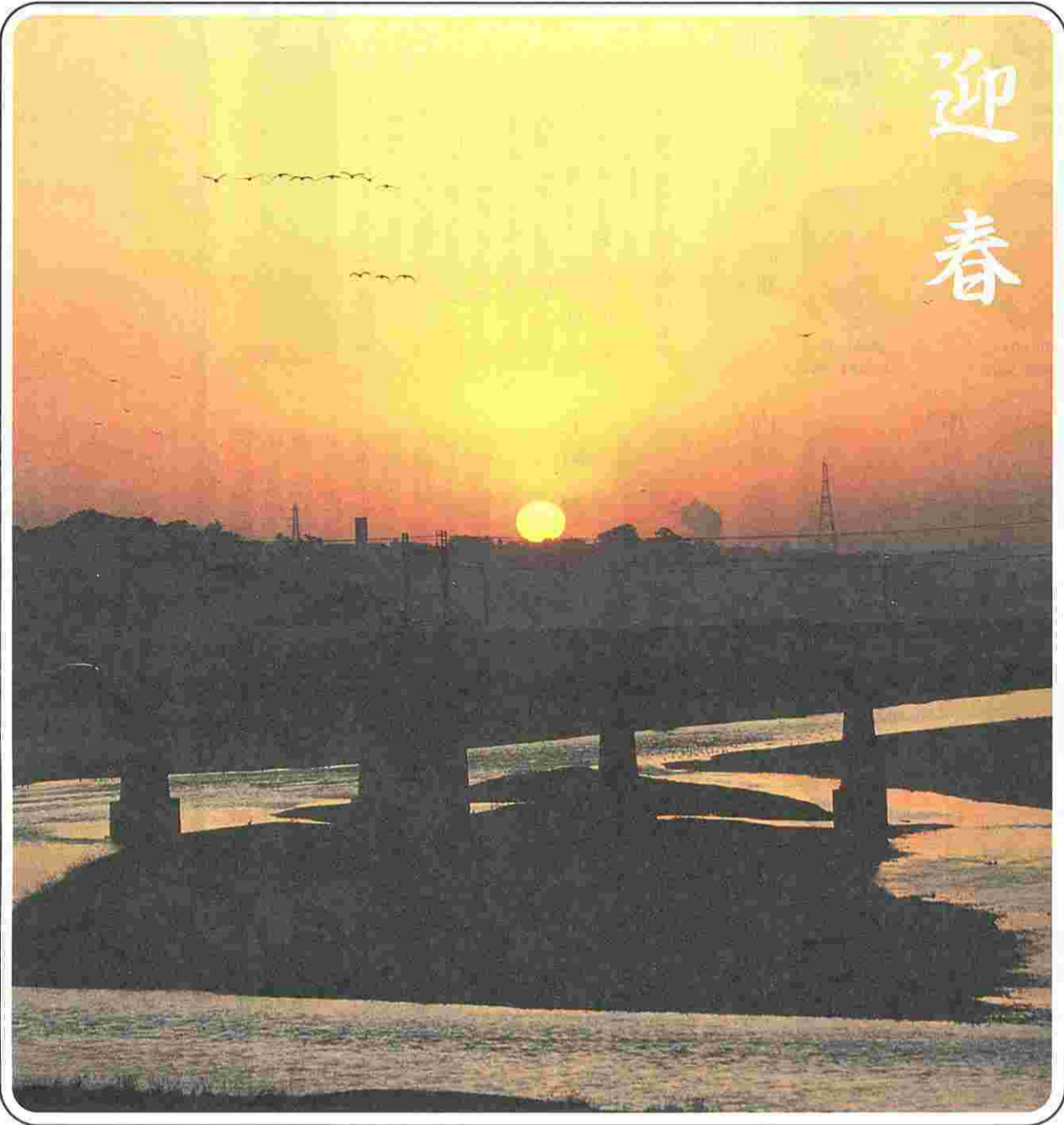
1/1

第4回定例会の主な会議日程

- 11月1日 本会議（代表質問）
- 2日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（議案の議決）
- 11日～22日 決算特別委員会
- 28日 本会議（会派意見、議案の議決）

発行 平成7年1月1日 〒154 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会事務局 ☎(5432)1111

●この区議会だよりは再生紙を使用しています



新年を迎えて

世田谷区議会議長 小谷 勝

あけましておめでとうでございます。新春を迎え、区民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨年は、政界の再編などで国政が再び大きく揺れ動きました。また、記録的な猛暑や深刻な水不足が、私たちの生活に多大な影響を与えました。

一方、区政では、「平和で豊かな生活文化都市」世田谷をめざした新たな基本構想が策定されたほか、23区初の環境基本条例が制定されるなど、21世紀を展望して新たな一歩を踏み出した年でした。さて、本年区では、新基本構想を具現化するための基本計画、実施計画がスタートします。また、区立では初めての特別養護老人ホーム「芦花ホーム」や世田谷文学館、総合運動場温水プー

ルの開設なども予定されています。区財政を取り巻く状況は一段と厳しさを増しています。このような時こそ、将来を見据えた的確な行財政運営を進めていかなければなりません。区議会といたしましては、決意を新たに、区民の皆様の期待に十分応えられるよう、全力を尽くしてまいります。本年も、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

議決内容

平成5年度決算を認定

第4回定例会開催

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から21の案件が提出され、すべて原案どおり可決されました。

●5年度各会計決算の認定 4件

賛成多数 賛成：自、公、共、社、区、生活系、民、無ク、反対：改革、行革

○一般会計

○国民健康保険事業会計

○老人保健医療会計

○中学校給食費会計

―関係記事は4、7ページに掲載―

●条例の新設 3件

○特別養護老人ホーム条例（全員賛成）
区立で初めての「特別養護老人ホーム芦花ホーム」(粕谷2丁目23-1)を設置する。

○特定公共賃貸住宅条例（全員賛成）
中堅所得者層を対象としたファミリー向け住宅「弦巻5丁目特定公共賃貸住宅」(弦巻5丁目13-19)を設置する。

○子育てファミリー借上げ住宅条例
賛成多数 賛成：自、公、共、社、区、生活系、民、無ク、反対：改革、行革
比較的所得の低い層及び中堅所得者層の子育てファミリー世帯を対象とした「子育てファミリー借上げ住宅」を供給するための規定を定めた。

●条例の改正 8件（全員賛成）

○地区会館条例
「経堂南地区会館」(経堂5丁目21-6)を新設する。

○水防・応急措置業務従事者の損害補償条例
療養補償の範囲を拡大したことなど。

○中小企業振興事業資金融資幹旋条例
中小企業従業員独立開業資金の融資幹旋の対象を拡大したことなど。

○母子寮条例
上北沢母子寮の名称を「母子寮パルメゾン上北沢」に変更する。

○高齢者在宅サービスセンター条例
「アイホーム芦花」(粕谷2丁目23-1)を新設することなど。

○自転車等放置防止条例
「明大前南自転車等駐車場」(松原2丁目22-6)を新設する。

○児童遊園条例
次の児童遊園を新設する。

児童遊園名	所在地
成城8丁目広場	成城8丁目28-1
祖師谷ぞうざん広場	祖師谷4丁目28-19

○職員給与条例
職員の給与を改定した。

●区道路線の認定 3件（全員賛成）

所在地	延長(m)
中町3丁目21	九六・〇一
玉川3丁目32	九五・一二
大蔵5丁目1	四二・四四

10頁へ続く

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や年賀状などのあいさつ状は禁止されています。

年頭にあたって

住所等は
平成6年2月16日現在

自由民主党区議団

区民の皆様には、ご健勝のうちに新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

日頃から自由民主党世田谷区議団に心温まるご支援とご指導をいただき、区議団一同、深く感謝申し上げます。

目まぐるしい政権の交代、円高など、日本の内外を取り巻く大きなうねりが、この時期に、私たち自由民主党は「世界の中の日本」を政策の基本に据えて、

努力してまいりました。今、世界は歴史的な転換期にあります。

それぞれの国や民族は、平和を求める相互の信頼と協力のもとに新たな国際秩序の形成を模索しています。

わが国では、これまでの繁栄を支えてきた政治・経済・社会のあり方に対する改革が必要となり、行政制度についても、国・地方それぞれに見直しを求められています。

さて、世田谷区では区の憲法ともい

える新基本構想が策定されました。21世紀を見据え、安全で快適な都市の創造に向けた道路網の整備、区内私鉄の連続立体化、エイトライナーの実現、適正な土地利用のもとでの計画的な市街地づくり、高齢化・少子化をふまえた福祉社会の実現、皆様の多様な学習ニーズに応える学校なども含めた生涯学習推進体制の整備、ゴミの減量化・

資源循環を展望したりサイクリング都市づくり、中小企業と区内産業の育成など、課題は山積しています。私たちは、これらを一一つ皆様とともに解決し、すばらしい21世紀を迎えるために全身全霊をささげる覚悟です。本年が、区民の皆様にとって実り多く良き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

皆様には、ご健勝で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃の皆様の心温まるご支援に心から感謝申し上げます。

この意義ある年に、21世紀を展望した世田谷区の将来像を描いた新基本構想、新基本計画に基づき、まちづくりが始まります。次世代に誇れるまちづくりに努めてまいります。

景気は、明るい兆しは見えて来とはいえず、区政を取り巻く財政環境は厳しいものがありますが、区民の生命と暮らしを守る立場からも、福祉の後退は許されません。

日本社会党・区民クラブは、次の課題などを中心に、力一杯取り組みます。

- * 特養ホームの増設、在宅サービスの充実や障害者施策の推進
- * 保育サービスの充実や学童クラブの充実
- * 教育環境の整備とアレルギー対策
- * リサイクル事業の推進、リサイクル条例の制定
- * 住宅供給促進や家賃補助制度の拡充
- * 平和事業の充実と平和資料館の建設



五十畑 孝司

経堂1-11-4五十畑ビル501
☎3429-0238



石塚 一信

赤堤5-30-12
☎3322-4472



石井 徳成

砧7-1-7
☎3417-5003



荒木 義一

桜上水1-1-7-201
☎3302-7485



小谷 勝

梅丘1-10-14
☎3420-2338



大高 定左右

上馬4-20-8
☎3414-0622



内山 武次

上馬4-27-11
☎3422-1940



宇田川 国一

上馬2-18-12
☎3410-2838



土田 正人

代田6-18-9
☎3468-0457



近岡 秀輔

奥沢1-11-16
☎3720-4498



鈴木 昌二

玉川2-5-7
☎3709-3422



小畑 敏雄

成城4-19-7
☎3484-8848



新田 勝己

等々力5-25-16-202
☎5706-8487



南里 吉彦

桜2-10-27
☎3439-2881



中村 大吉

下馬1-33-2
☎3424-3217



内藤 義雄

世田谷1-23-15
☎3426-5151



土橋 賀

太子堂2-7-8
☎3421-7198



真鍋 欣之

粕谷2-4-8-202
☎3329-4812



星谷 知久平

瀬田2-31-34
☎3700-0034



広島 文武

代沢1-29-30
☎3412-3044



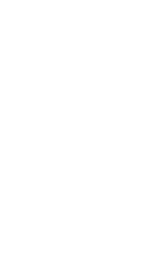
平山 八郎

祖師谷5-3-2
☎3482-5700



浜中 光揚

船橋4-28-15
☎3484-3314



山内 彰

池尻4-29-18
☎3411-1488



山口 昭

等々力2-26-11
☎3704-5060



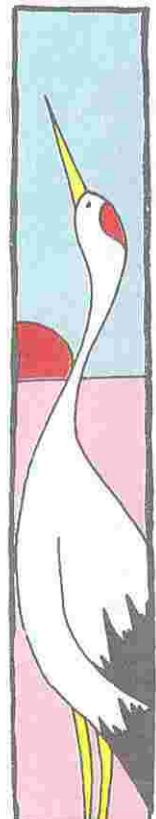
宮田 玲人

羽根木2-5-23
☎3323-4909



三田 真一郎

深沢2-3-3
☎3703-5666



オール与党で20年、側近の懲戒免職など、不祥事が続発して大場区政はボロボロです。なにに大場啓二氏は、私どもの引責辞任勧告も無視して六選出馬表明をしました。他方、自民、公明、共産、社会、生活ネット、民社の与党各会派には、与党の甘い汁が忘れられず、大場氏を推す動きがあります。「改革派」は、大場氏とオール与党と対決し、これを打倒するまで戦い抜きます。



下条 忠雄

千歳台2-14-15
☎3482-0033

長期オール与党談合区政を改革する派



斉藤 国男

池尻4-23-11
☎3413-5018



高橋 忍

上祖師谷4-2-1-421
☎3704-2528



西村 孝

上北沢1-24-5上北沢コーポ203
☎3329-4687

公明区議団

明けましておめでとうございます。21世紀まで、余すところ後5年。時代と社会は大きな変動期に差し掛かっています。政治においても、自民党長期一党支配体制が終えんを告げ、与野党慣れ合いの、いわゆる55年体制は崩壊いたしました。

昨年、結党30周年を迎えた公明党も、新たな政治システムの構築をめざして、地方議員主体の新政「公明」を結成し、自治の確立・分権の実質化を求めて、新出発を果たしました。

世田谷区においても、私たちは、地方自治にふさわしい自治の拡充、そして、参加と協働による住民自治の確立を目標に、人権・福祉・環境・平和を基調とした「生活者優先の政治」を着実に具体化してまいります。

また、「骨粗しょう症無料検診」「乳幼児医療費無料化」「低年齢児保育枠の拡大」「不登校児のためのフリースクール計画」「環境基本条例の制定」……などを主張し、実現してまいります。今後はさらに、各総合支所への「高齢者総合相談窓口」の設置を進め、保健所・福祉事務所・医療機関の連携を密にして「保健・福祉・医療サービス」のネットワーク形成をめざし、併せて「在宅介護支援システム」の強化、余裕教室活用による「生きがい対策」や温水プールによる健康増進事業などに全力で取り組めます。

日本共産党区議団

消費税率の5%へのアップや年金制度の改悪、入院給食費の自己負担の導入、コメ輸入自由化など新・旧連立諸党は、国民のいのちとくらしにかかわる悪政を次々と進めています。また、自衛隊の海外派兵と国連常任国入りで、憲法の改悪まで持ち出しています。

国政、都政、区政でも、国民の多数の願いに応えられない政党は、日本共産党だけになっています。

日本共産党区議団は、「区民の皆さんと力を合わせて、悪政から区民のいのちとくらしを守ります。」「消費税率の引き上げをやめさせ、くらしと営業を守ります。」「清潔・公正・民主的な区政の実現で、「区民が主人公」の世田谷をつくります。

生活者ネットワーク区議団

明けましておめでとうございます。昨年は年明けから「米」不足が叫ばれ、抜本的な農政の改革が求められました。しかし、中央では政党政治の瓦解のなか、「市民不在」のまま、混迷の域を脱していません。地方分権の政治が求められ、地方分権のなかでこそ「市民自治」の真の意味が問われるのです。

生活者ネットワークは「市民参加」こそが自治の基本であると考え、昨年も大勢の市民とともに活動し、提言してまいりました。公共施設での石けん使用、特に学校給食での食器、食缶洗浄に石けんが使用され、環境に配慮した街づくりの第一歩が築かれました。再生紙の利用も積極的に進め、「世田谷ブランド」も実現しました。また、高齢者・障害者の施設整備や助成制度を提案し、福祉・保健・医療の連携を求め「住み続けたい」街の実現に向けて生

活者の視点で活動してまいりました。今年度は

民社・無所属クラブ

子どもたちの教育内容の充実をはじめとする教育環境、条件の整備、区内中小商工業の育成や振興にも力を注ぎ、また、暮らしの場から地域環境保護運動を広げていく努力を続けてまいります。働く女性のための保育所の充実、母子家庭や力の弱い人たちが安心して暮らせる「世田谷区政」をめざして参ります。

子どもたちの教育内容の充実をはじめとする教育環境、条件の整備、区内中小商工業の育成や振興にも力を注ぎ、また、暮らしの場から地域環境保護運動を広げていく努力を続けてまいります。働く女性のための保育所の充実、母子家庭や力の弱い人たちが安心して暮らせる「世田谷区政」をめざして参ります。

子どもたちの教育内容の充実をはじめとする教育環境、条件の整備、区内中小商工業の育成や振興にも力を注ぎ、また、暮らしの場から地域環境保護運動を広げていく努力を続けてまいります。働く女性のための保育所の充実、母子家庭や力の弱い人たちが安心して暮らせる「世田谷区政」をめざして参ります。

Portrait grid for the main council members including 小口 義晴, 上地 良昌, 市川 康憲, 飯塚 和道, 中嶋 義雄, 中塚 護, 長谷川 義樹, 中嶋 義雄, 諸星 養一, 和田 勉, 吉本 保寿, 田沼 繁夫, 村田 義則, 山崎 治茂, 大庭 正明.

世田谷行革110番
どんなに偉い人でも20年も区長を続けるとうんざりか。答えは区役所が自民党から共産党までの巨大な利権共有の場と化したということ。それと引き換えに大場区長は安心して続投表明。よってたかつて各党各会派の、あれもこれも欲しいで世田谷区の借金は一千億円を突破。各党の区民向けの美辞麗句は素晴らしいが、全部借金頼みでのお約束であることを忘れずに。

Portrait of 大庭 正明 with contact information: 北鳥山7-4-11-204 ☎3307-1169

Portrait grid for 東 まさ and 丸山 孝夫 with contact information: 瀬田4-9-8 ☎3700-4075, 太子堂3-33-3-222 ☎3422-8882

区民の皆様の一層のご叱咤とご指導をお願い申し上げます。今年が皆様にとって良い年でありますよう心から祈念いたします。

Portrait grid for 田沼 繁夫, 村田 義則, 山崎 治茂, 大庭 正明, 長谷川 佳寿子, 森川 礼子, 森田 イツ子 with contact information: 喜多見7-21-2 ☎3415-9839, 深沢4-7-12 ☎3703-7240, 赤堤3-31-15 ☎3321-0597, 北鳥山7-4-11-204 ☎3307-1169, 横上水4-1-1-401 ☎3303-2508, 祖師谷6-23-7 ☎3482-0902, 上用賀6-32-1 ☎3426-1093

平成5年度 決算のあらまし

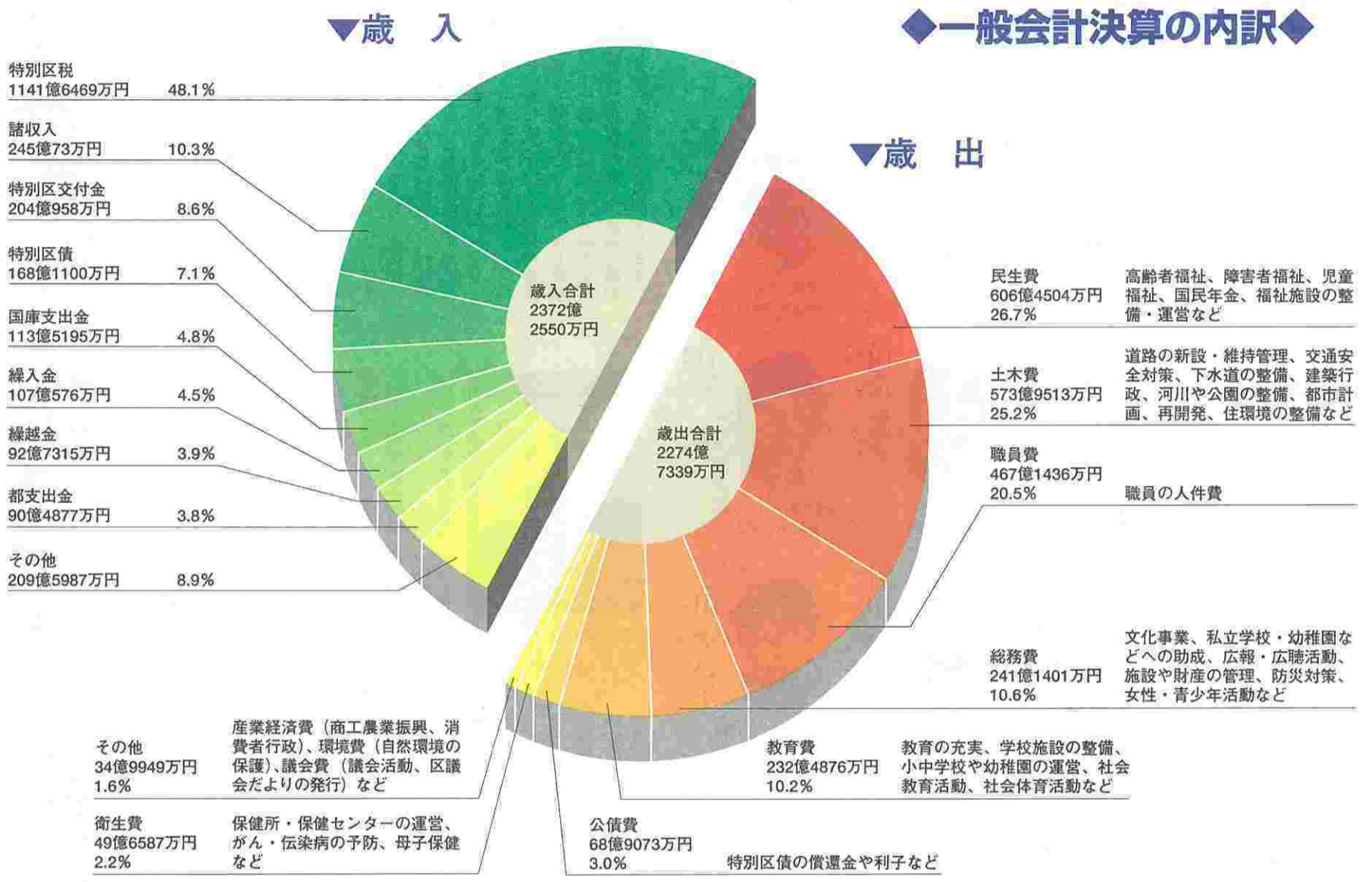
総額約三〇〇億円の平成5年度の各会計決算が認定されました。決算の審議は、区の事業が計画(予算)どおりに行われたか、また、区民生活の向上に役立ったかをチェックするとともに、その成果をふまえて、今後の区政の進め方を考えていくという重要な役割を持っています。

各会計の決算額は下表のとおりです。一般会計については、歳入・歳出決算の内訳をグラフで示してあります。

決算の認定にあたっては、自民党23名、公明党10名、共産党5名、社会党、区民クラブ3名、生活者ネットワーク3名、民社党・無所属クラブ2名、長期オール与党談合区政を改革する派1名、世田谷行革10番1名の計48名で構成する「決算特別委員会」を設置し、7日間にわたって、区政の様々な分野ごとに慎重な審議を行いました。

審議の主な内容は次のページに、決算に対する各会派の意見は6・7ページに掲載してあります。

◆一般会計決算の内訳◆



平成5年度各会計決算額

	歳入決算額	対前年度比 伸び率 (%)	歳出決算額	対前年度比 伸び率 (%)	差 額
一 般 会 計	2372億2550万円	1.6%	2274億7339万円	1.5%	97億5211万円
国民健康保険事業会計	347億5912万円	3.7%	342億5323万円	3.8%	5億589万円
老人保健医療会計	417億5233万円	6.0%	417億4375万円	6.0%	858万円
中学校給食費会計	5億1722万円	-12.7%	5億1310万円	-12.9%	412万円
計	3142億5417万円	2.4%	3039億8347万円	2.3%	102億7070万円

区長の区議会招集 あいさつ(要旨)

共に生きる豊かな地域社会の実現に全力

総合支所ごとに地域懇談会を実施し、高齢社会への対応や、都市基盤の整備、子どもの健全育成などについて、多くのご意見、ご提案をいただきました。地域からの発想を、今後の区政に反映していきます。

「区政改革への取組み」をまとめました。優れた自治体をめざし、自ら先頭に立って、さらに改革を進めていきます。

次代を担う青少年に、区政を身近に感じてもらうよう、中学生議会を開催します。

女性の社会参加を進めるため、「らぶらすウイメンズ・カレッジ」を開講します。多くの女性が幅広い知識や実践力を身につけ、地域で活躍される事を期待します。

北海道東方沖の地震では、防災対策の重要性を再認識しました。より効果的で、地域に密着した防災訓練の実施を検討していきます。

「瀬田地区会館」に引き続き、6年12月に「駒沢地区会館」が開設します。これからも、地域の交流の場を計画的に整備していきます。

国道246号線三軒茶屋〜二子玉川間で、国の道路環境整備事業が行なわれることになりました。電線の地中化や光ファイバーケーブルの敷設などにより、21世紀へ向けた通信網の整備が飛躍的に進むものと考えています。

住宅施策では、「せたがやの家」システムを補完する、緊急一時的な対策として、「子育てファミリー借上げ住宅」事業を実施します。また、中堅所得者層を対象に、「特定公共賃貸住宅」を建設し、住宅供給の拡大に努めます。

景気の低迷などによる歳入不足から、厳しい財政状況が続いています。今後とも、健全財政の維持を基本に、限られた財源の効率的な活用に努め、計画事業の推進に全力を注いでいきます。

決算特別委員会での

主な質問・要望事項

7日間にわたり決算特別委員会で審議した主な質問・要望事項を分野別、会派別にお伝えします。

企画総務領域

- 自由民主党
 - 健全財政の維持(的確な将来見通し、財源の確保、経常的経費の抑制など)
 - 区長の強力なリーダーシップの発揮
 - 施策の優先順位の明確化
 - 住民意見の区政への反映
 - 地域行政の積極的な推進
 - 選挙区分割での区の一括性の確保
 - 町会中心の地域ネットワークづくり
 - 清掃工場新設計画への慎重な対応
 - 川場村との交流の促進
 - 無認可幼児施設の保護者の負担軽減
 - 職員数の抑制
 - 入札制度の改善
- 公明党
 - 区政改革の着実な推進
 - 将来を見据えた的確な財政運営
 - 区長の資産公開条例の早期制定
 - 行政情報提供システムの拡充
 - 区民や職員への行政手続法の周知
 - 研修の充実による職員の資質の向上
 - 公選法違反ポスターへの厳正な対応
 - 日本共産党
 - 補助金確保に向けた都への働きかけ
 - ふじやまビルへの昇降機設置
 - 文化施設を結ぶ巡回バスの運行
 - 高齢者が利用しにくい投票所の改善
 - 日本社会党・区民クラブ
 - 配置基準に沿った区民施設の整備
 - 政策立案能力を育む職員研修の実施

区民生活領域

- 自由民主党
 - 公選法違反ポスターの撤去の徹底
 - 生活者ネットワーク
 - 国際化に対応した区政の展開
 - オンブズマン制度の早期導入
 - 施設整備での区有地の有効活用
 - 民社党・無所属クラブ
 - 達成時期を明確にした区政の改革
 - 職員の意欲を生む人事政策の確立
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 首長の長期在職の弊害
 - 世田谷行革110番
 - 決算審査の時期の早期化
- 自由民主党
 - 防災対策の充実(訓練への区民の参加促進、街路消火器の増設、消火ポンプの水源の周知など)
 - 中小企業の振興(産業交流センターの建設、融資斡旋制度の拡充など)
 - 環境美化に向けた取り組み(条例の制定、捨て看板の取り締まりなど)
 - ゴミ置き場のクラス対策
 - ストックヤードの整備促進
 - 緑化事業の積極的な推進
 - 千歳台地区の生活環境の改善
 - 勤労者への結婚支援事業の充実
 - 公設民営の公衆浴場の設置
 - 公明党
 - 総合支所の執行体制の強化
 - リサイクルの推進(オリジナル再生品の利用促進、資源分別回収の拡大)
 - 近隣公害担当の専門部署の設置
 - アジア諸国との産業交流の実施
 - 若者の消費者トラブルからの救済

福祉保健領域

- 自由民主党
 - 公衆浴場の存続に向けた取り組み
 - 日本共産党
 - 商工業振興条例の制定
 - 家庭ゴミの有料化への反対表明
 - 奥沢区民センターへの昇降機設置
 - 区立公衆浴場の早期建設
 - 日本社会党・区民クラブ
 - 戸籍OA化での個人情報管理徹底
 - 低公害車の普及
 - 緑被率向上への積極的な取り組み
 - 生活者ネットワーク
 - 環境行動指針の早期策定
 - 区民施設の利用申し込み方法の改善
 - ペットボトルの拠点回収の実施
 - 民社党・無所属クラブ
 - 消費者行政の充実と積極的な展開
 - 園芸講習会の各種イベントでの実施
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 三宿の区の未登記建物に対する責任
 - 世田谷行革110番
 - 区民保養施設の受付窓口の一本化

都市整備領域

- 自由民主党
 - がん検診の一層の充実
 - 大蔵病院の医療センター化の促進
 - 公明党
 - 福祉の基本条例の早期制定
 - ホームヘルパーの積極的な確保
 - 補聴器交付制度の改善への働きかけ
 - 障害者宅の階段昇降機設置への助成
 - 緊急通報システムの対象者の拡大
 - 高齢者のグループホームの設置
 - 骨粗しょう症検診事業の拡充
 - 日本共産党
 - 常勤ホームヘルパーの積極的な確保
 - 在宅サービスセンターの整備促進
 - 国立大蔵病院の存続
 - 鳥山保健相談所の保健所への昇格
 - 日本社会党・区民クラブ
 - 乳幼児保育の拡充に向けた取り組み
 - 肝臓がん・すい臓がん検診の実施
 - エイズの相談・検査体制の強化
 - 生活者ネットワーク
 - 介護マンパワーの確保
 - 在宅サービスセンターの事業の拡充
 - (寝たきり高齢者の受け入れなど)
 - 民社党・無所属クラブ
 - 民生委員への若年層の登用
 - 老人保健施設の早期設置
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 国立成育医療センターの早期実現
 - 世田谷行革110番
 - 高齢者配慮優先の公共施設の整備

文教領域

- 自由民主党
 - 公立小中学校の早期制定
 - 福祉の街づくり条例の早期制定
 - バス路線網の整備促進(鳥山・成城間、玉堤地区)
 - 三軒茶屋再開発ビルの電波障害対策
 - 千歳通りの歩道の改善計画の策定
 - ガードレールのデザインの統一
 - 三軒茶屋駅周辺の放置自転車対策
 - 日本共産党
 - 二子玉川再開発計画の見直し(環境に十分配慮した目黒通りの整備など)
 - 小田急線の高架化の見直し
 - 玉堤地区へのバス路線の早期導入
 - 日本社会党・区民クラブ
 - 放置自転車対策の強化
 - 公共施設の駐車場の休日開放
 - 区の公共基準点の早期整備
 - 生活者ネットワーク
 - 街づくり事業への区民参加の促進
 - 谷戸川の親水公園としての整備
 - 区道の公募した通称名の早期決定
 - 民社党・無所属クラブ
 - 営業業務の積極的な外部委託
 - 三軒茶屋再開発事業の促進
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 三宿の地区計画による規制の排除
 - 世田谷行革110番
 - 三軒茶屋再開発組合への適切な指導



決算特別委員会

- 小学校のパソコン教育の体制整備(指導教員の育成、学習用ソフトの充実、研修センターの設置など)
- 不登校児問題への積極的な取り組み(転校への柔軟な対応、受け入れ施設の早期開設など)
- 日本共産党
 - 学校5日制の拡大に備えた取り組み
 - 子どもの権利条約の周知徹底
 - 学校図書館への専任職員の早期配置
 - 区立幼稚園での3歳児保育の実施
 - 日本社会党・区民クラブ
 - 子どもが楽しめる体育授業の実施
 - 運動で活躍した生徒の積極的な表彰
 - スポーツ施設の利用手続きの簡素化
 - 生活者ネットワーク
 - 教育委員会による子ども会議の開催
 - 中学生の地域スポーツ活動の支援(体育館の積極的な開放など)
 - 民社党・無所属クラブ
 - 芸術に親しめる教育環境づくり
 - 生涯学習担当の教育委員会への統一
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 警備・給食・学童擁護等のリストラ
 - 世田谷行革110番
 - 安価で良質な学校指定物品の選定

平成5年度決算に対する 会派意見 のあらまし

最終日の本会議で、8人の議員が各会派を代表して、平成5年度各会計決算に対する意見を発表しました。その要旨をお伝えします。



行政改革をより一層進め 多様な区民要望に応えよ

自由民主党

(賛成意見)

区財政は依然として厳しい状況にあるが、多様化する区民ニーズには的確に対応していかなければならない。事務事業を徹底的に見直し、無駄のない効率的な行政運営に全力を注ぎ、

地域行政制度が真に実効あるものとなるよう、総合支所への大幅な事務の移管や権限の委譲、事務量に見合った人員の配置を行え。また、全職員に制度の趣旨を再度徹底せよ。

安全で住みよい都市づくりは区の最優先課題だ。遅れている道路整備を促進するため、財源確保と執行体制の強化に努めよ。区画整理などの手法も十分活用せよ。小田急線立体化事業の早期着工を働きかけるとともに、駅周辺の街づくりに積極的に取り組め。エイトライナーの実現にも全力を注ぎ。また、バス路線を開通する際の事業者への助成は、慎重に検討せよ。
用途地域の改定案に反映されなかった住民要望には、地区計画などの手法を活用して応えていけ。また、区の公共基準点を早期に設置せよ。
厳しい経営環境に置かれている中小商工業者を支援するため、融資制度や相談事業の充実を図れ。



常に改革意識を持って 先進的な区政を展開せよ

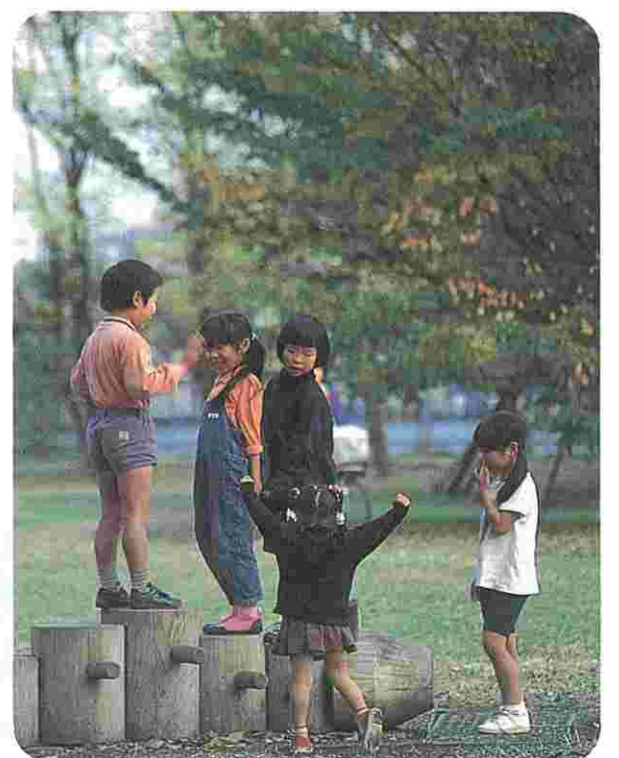
公明党

(賛成意見)

21世紀の世田谷が理想的なまちとなるよう、区長の指導力のもと、より質の高い区政を展開していくことが重要だ。職員一人ひとりが自覚を持ち、さらなる区政改革に全力で取り組め。
住民税の大幅な減収で、区財政はより厳しい状況にある。起債や基金の取り崩しは、財政の硬直化を招かないよう、将来を見据えて慎重に行え。7年度予算は、事務事業を積極的に見直し、優先順位を明確にして編成せよ。
住宅施策では、子育てファミリー向け住宅の供給を進めよ。住宅バンク」制度の導入や高齢者住み替え家賃助成制度の対象者の拡大にも取り組め。障害者や高齢者が安心して住み続けられる地域社会を形成するため、福祉の基本条例を早期に制定せよ。在宅福祉では、ホームヘルプサービスや緊急通報システムの充実を図れ。開設予定の総合相談窓口は、真に福祉、保健の連携の核となるよう努力せよ。また、

資源循環型社会の形成には、区民、行政、事業者が一体となった取り組みが不可欠だ。分別回収の区内全域での実施や中間処理施設の増設に努めよ。再生品の普及やリサイクル意識の啓発も図れ。また、移管される清掃事業の受け入れ体制の整備に万全を期せよ。
地域福祉では、ホームヘルパーの派遣などの在宅サービスを拡充せよ。訪問看護ステーションの設置も図れ。また、特養ホームのベッド数を確保するため、民間施設への助成を強化せよ。生涯学習や生涯スポーツの場の確保と、機会の提供に積極的に取り組め。また、計画的な学校の改築や、区立幼稚園の段階的な廃止に努めよ。学校警備の機械化も全校で実施せよ。

特養ホームの待機者の解消や老人保健施設の設置、骨粗しょう症検診事業の拡充などに取り組め。
環境に配慮したまちをめざし、景観条例とポイ捨て禁止条例を制定せよ。また、清掃事業の移管に備え、リサイクルセンターやストックヤードの整備、資源分別回収の全区での展開を図れ。
良好な教育環境の実現が求められている。学校改築の推進やパソコン教育の拡充を図れ。学校5日制の拡大に備えた対応策も講じよ。また、不登校児の受け入れ施設を設置せよ。
区が、地方自治法上の基礎的自治体に位置付けられるよう、特別区制度改革に全力で取り組め。
都市基盤の整備や電線類の地中化を進めよ。南北交通問題の解消に向け、バス路線網の整備に努めよ。放置自転車対策や交通安全対策にも力を注ぎ。また、行政情報を区民に提供するオンラインシステムを導入せよ。



砧公園にて

いのちとくらしを守る 住民本位の区政運営を

日本共産党

(賛成意見)

国は、国民の意志に反し、消費税の引き上げを決めたうえ、年金制度を改悪した。また、減税分の財源負担を自治体に押しつけている。さらに、都も補助金の削減などを打ち出す一方、税金の浪費である世界都市博覧会へ、区を参加させようとしている。
こうしたなか、区は区立特養ホームの用地の確保や乳幼児医療費の無料化の対象拡大、中小企業融資制度の拡充などに努めてきたことを評価する。今後も、区民のいのちやくらしを守る視点から、積極的に区政を推進せよ。
特養ホームの待機者の増加を見越し、ベッド数の確保に努めよ。高齢者入院見舞金制度は早急に導入せよ。また、開設予定の福祉と保健の総合相談窓口には、職員を十分配置せよ。在宅福祉の充実に向け、常勤の訪問看護婦やホームヘルパーの増員に取り組め。休日、夜間のヘルパーの派遣も実施せよ。産休明け保育、病後児保育の実施や

民間施設への支援強化に取り組め。保育措置制度の廃止には反対せよ。また、国立大蔵病院と小児病院の統合問題では、地域医療の確保に全力を注ぎ、障害者の自立を促すため、グループホームの整備を急げ。民間福祉作業所の運営費の助成も拡充せよ。
「せたがやの家」システムを活用し、住宅供給の拡大に努めよ。低所得者層や高齢者、障害者向け住宅の確保にも取り組め。また、安い家賃の公共住宅の増設を国や都に働きかけよ。都営住宅の家賃の引き上げの撤回も求めよ。
三軒茶屋、二子玉川の再開発事業や小田急線の高架化事業は、反対する住民の声を十分聞いて見直せ。また、中小企業に対する景気対策として、緊急融資制度を継続せよ。
学校5日制の拡大では、学習指導要領の見直しを国に求めよ。学校図書館への専任職員の配置や、区立幼稚園での3歳児保育の実施にも取り組め。



健全財政を堅持し 区民福祉の向上に全力を

日本社会党・区民クラブ
(賛成意見)

5年度は、厳しい財政状況下でありながらも、財源の効率的な運用に努めたことを評価する。今後とも、健全財政の維持に全力で取り組み。また、区民税滞納分の徴収にも一層努力せよ。特別区制度改革では、区が自治法上の基礎的自治体に位置付けられるよう、法改正に不転の決意で望め。また、戦後50年を機に平和資料館を建設せよ。区長がリーダーシップを発揮し、区政を改革することが重要だ。オンブズマン制度の早期導入を図れ。政策立案機能の強化や各種審議会の活性化にも努めよ。また、高度情報化社会を見据え、新たな広報のあり方を検討せよ。

高齢者福祉の充実に向け、マンパワーを積極的に確保せよ。デイホームの未整備地域の解消も急げ。特養ホームの建設費助成は、区内でのベッド数確保を優先する観点から行え。玉川地域へも区立ホームを設置せよ。また、福祉と保健が十分連携した総合相談窓口を開設せよ。がん検診の拡充やエイズの検査、相談体制の強化にも取り組み。エイトライナーの早期実現やミニバスの導入に努めるなど、南北交通網の整備に努めよ。小田急線の高架化問題では、住民との協議の場を設けるよう、関係機関に働きかけよ。また、地価監視制度の廃止には反対せよ。

厳しい財政状況のなか、高齢者にかかる医療費の増加が憂慮される。福祉、保健を高齢者施策の中心に据え、徹底した疾病予防と在宅サービスの充実に全力をあげよ。まず、保健婦や看護婦、ホームヘルパーなどの福祉マンパワーの確保に積極的に取り組み。また、きめ細かな福祉サービスを提供するためには、地域の実情に精通した経験豊かな職員が必要だ。福祉の仕事に長期間携わるよう、職員の人事に配慮せよ。開設予定の総合相談窓口には、専門知識を備えた職員を配置せよ。



高齢社会に備え 福祉の人材を確保せよ

生活者ネットワーク
(賛成意見)

ストックヤードの建設では、地域住民に理解と協力を求め、早期開設に全力を尽くせ。レンタサイクルは自転車の放置防止策として大変有効だ。また、駅間の相互利用を実施した場合、公共交通手段を補完する役割も果たす。事業の拡充に積極的に取り組み。さらに、レンタサイクルを区民施設に配備する「コミユニティ」サイクル構想を検討せよ。安心して子どもを生育できる環境の整備が求められている。すべての親が公平にサービスを受けられるよう、現在の保育行政を積極的に見直し、幅広い支援策をきめ細かく展開せよ。また、幼児教育でも多様な区民ニーズに応えることが必要だ。幼稚園の充実、幼稚園類似施設や家庭教育への援助などに取り組め。

7年度予算の編成にあたっては、区民生活・福祉関連施策の充実に最大限努力せよ。



世田谷公園にて

区長と与党の馴れ合い議会粉砕

長期オール与党談合区政を改革する派
(反対意見)

行政改革が叫ばれるなか、今なすべきは、何を見直し、何を切るか、だが、議会では、与党の無い物ねだりが横行し、区長も選挙対策上バラマキ政治を行っている。億単位の赤字が出るのに、新規バス路線を開設するなど、人気



取り、場当たり的バラマキ政治だ。学校警備は、現行の人手によると年間一六〇〇万円かかっているが、機械にすれば、一八〇万円で済む。納税者の厳しい目を意識して対応を怠るな。

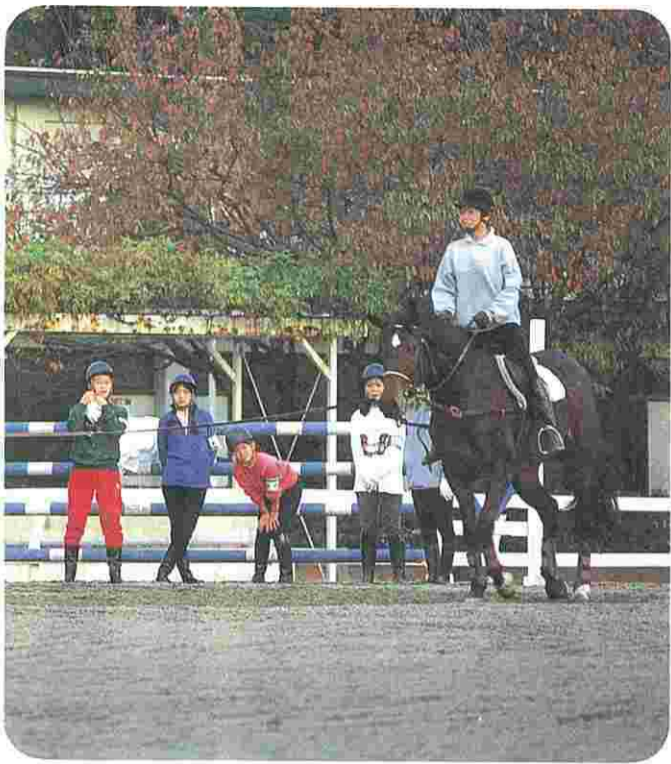
民間感覚と格差がある区政運営

世田谷行革110番
(反対意見)

5年度は、広報課架空会議費事件や区長交際費領収書破棄事件、公益質屋公金横領事件があったが、いまだ十分な説明がなされていない。このような年の決算は、20年に及ぶ長期大場区政における管理体制同様、信頼性に問題



があり認定できない。また、決算書の作成時期が30年前と変わらないなど、区政は民間感覚から大きくずれている。「速さ」もサービスの一部という認識を持ち、事務処理の迅速化を図れ。



馬事公苑にて



すべての人にやさしい まちづくりを進めよ

民社党・無所属クラブ
(賛成意見)

高齢者や障害者などに配慮したまちづくりを進め、だれもが安心して暮らせる社会の実現に全力を注げ。区政改革では、人事政策の確立や地域行政制度の拡充を急げ。営繕業務など、事務事業の外部委託も進めよ。また、三軒茶屋再開発を着実に推進せよ。社会の変化に合わせて多様な消費者行政を展開せよ。放置自転車の解消に向け、区民のモラルの向上に取り組み。また、緑化事業は計画的に進めよ。

高齢者福祉を充実するため、在宅サービスの拡大や老人保健施設の早期設置に努めよ。民生委員の選出も慎重に行え。また、身近なまちづくり推進員は地域から幅広く登用せよ。児童生徒数に合った学校規模を確定し、施設の余裕部分は有効活用を検討せよ。生涯学習事業は教育委員会に一本化し、区民への情報提供も十分行え。また、埋蔵文化財調査に対する地主負担で、不公平が生じないように配慮せよ。

代表質問

初日の本会議で、5人の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。



細網7号線(砵6丁目付近)

自由民主党

効率的な行財政運営に全庁をあげて取り組み

質問 区政の課題は山積しているが、減税などの影響で、財政状況は大変厳しい。最小の経費で最大の成果をあげるため、区政改革の実現に全力で取り組み。将来を見通した的確な財政運営にも努めよ。また、都区制度改革の早期実現に積極的に取り組み。

区長 助役 企画・税務経理部長 事務事業の見直しや、組織のスリム化などに努めていく。限られた財源を効率的に活用していく。全力を尽くす。

質問 地域行政制度が十分機能するよう、総合支所の体制を強化せよ。
区長 助役 きめ細かなサービスを提

供するため、全庁あげて検討していく。
質問 新たな実施計画は、財源の裏付けまでを十分考えて策定せよ。
企画部長 社会情勢の変化に対応できる計画としたい。

質問 住宅政策は、区の人口バランスや地域特性、国や都との役割分担などを十分考慮して進めよ。
助役 国や都の事業に区独自の施策も併用して、良好な住宅を供給していく。

質問 都市の基盤整備が遅れている。骨格となる道路の整備を積極的に推進せよ。また、エイトライナーの早期実現に取り組みなど、広域的な交通網の整備にも力を注ぐ。

区長 助役 道路のネットワークづくりを進めていく。総合交通計画を策定して取り組んでいく。

質問 自転車の放置やゴミのポイ捨てなど、公德心に欠けた振る舞いが目立つ。幼児期からの道徳教育に力を注ぐ。また、幼児教育の研究活動も支援せよ。
区長 教育長 公衆道徳が守れる心を育てていきたい。予算措置を講じたい。

公明党

活力ある自治体をめざし 区政改革に全力を注ぐ

質問 減税などの影響で、区の財政状況は大変厳しい。効率的で効果的な区政運営を推進するため、職員が一丸となって早急に区政改革を実現せよ。
区長 自らが先頭に立ち、全庁あげて改革を進めていく。

質問 入居先が見つからない高齢者向けに、きめ細かな住宅情報を提供する「住宅バンク」制度を創設せよ。区が保証人となる制度も導入せよ。また、都の住宅情報システムの活用を望む。
高齢対策部長 住宅政策室長 宅建協会の協力を得て、情報の提供に努めていく。保証人制度は検討していきたい。



世田谷保育園にて

日本共産党

消費税引き上げに反対し 区民本位の区政の推進を

質問 村山首相は選挙公約を破り、消費税引き上げ法案を国会へ提出した。区長は区民の暮らしを守る立場から、増税に反対せよ。また、選挙での公約のあり方に対する見解を示せ。

区長 国民の声が反映された税制を望む。基本的に守るべきものと考え、区政改革による事務事業の見直しでは、福祉・教育施策を充実させ、区民ニーズに応えよ。

区長 区民の立場に立った改革を行う。
質問 区立幼稚園の充実に向け、保育時間の延長や3歳児の受け入れに取り組み。私立園児の保護者への助成存続

も都に求めよ。また、通学時の子どもの安全確保のため、学童擁護員は正規職員だけで対応せよ。中学校給食は、学校改革に合わせて自校方式に改め、研究していく。助成制度の拡充を要望したい。擁護員制度は見直したい。望ましい給食のあり方を検討している。

質問 在宅福祉を充実するため、鳥山保健相談所を福祉と保健のネットワークの拠点として整備せよ。民間による老人保健施設の建設にも支援を行え。
助役 保健所と福祉事務所の機能を検討し、連携体制を確立したい。建設費の助成に努めていく。

質問 民間保育施設への援助を強化するなど、保育園の未措置児解消を図れ。
福祉部長 助成策などを講じていく。

質問 不登校児の受け入れ施設は、指導内容を十分工夫して設置せよ。また、小学校のパソコン教育の導入体制を整えよ。中学校の外国語教育を充実させるため、L1教室を設けよ。余裕教室の有効活用にも取り組め。

教育長 学校教育部長 来年度の開設に向け準備を進めている。教員の研修を実施している。L1教室は検討したい。地域住民への開放を促進していく。
質問 高度情報化社会に備え、光ファイバーケーブルの整備に努めよ。また、電線類の地中化に積極的に取り組め。
区長 関係機関と協力して進めていく。

日本社会党・区民クラブ

長期的展望のもと 的確な財政運営を

質問 税収の大幅な伸びが期待できず、区財政は大変厳しい。適切な予算配分に努め、限られた財源の効果的な活用に全力を注ぐ。多額の起債が財政の硬直化を招かぬよう、償還に充てる基金も設置せよ。また、新たな実施計画の財源確保に万全を期せよ。

区長 助役 企画部長 今後も、健全な財政の維持に努める。基金は6年度末を目途に検討したい。施策の着実な推進に向け、歳入の確保に努めていく。
質問 高齢社会に対応するには、地域福祉の展開が急務だ。特養ホームや保健所などの連携を強化し、きめ細かな



尾山台地域体育館

生活者ネットワーク

地域と手を携え 区政を展開せよ

質問 新基本計画を策定中だが、まちづくりでは「住民との協働」が不可欠だ。地域団体との連携を密にするため、出張所単位のネットワークを形成せよ。
助役 北沢総合支所長 多くの区民の協力が得られるよう、努力していく。

質問 リサイクルへの取り組みが遅れている。新基本計画にリサイクル条例の制定を盛り込め。区民、事業者、行政の責務も明らかにせよ。

区長 条例の早期制定をめざす。具体的な責務は条例のなかで規定したい。
質問 外国人の区政参加を進めるため、審議会委員への登用などを図れ。また、

国際交流基金を積極的に活用せよ。選挙権の付与の国への働きかけも望む。
区長 今後も区政全般で国際化に努める。区民レベルの交流に役立てたい。
質問 高齢者保健福祉計画に示したホームヘルプサービスの目標値を達成するため、ヘルパーの具体的な確保策を早急に検討せよ。また、地域福祉の向上のため、保健所に福祉、保健、医療の調整機能を持たせ、保健センターなどと連携せよ。保健婦の確保も図れ。
助役 高齢対策・衛生部長 関係機関と協議するなかで、具体的な見直しを立てていきたい。高齢社会に十分対応できる体制を整備していく。



保健センター

サービスの提供ができるシステムを確立せよ。福祉・保健部門が一体化した組織も検討せよ。また、障害者の福祉施策は今後どう進めていくのか。
助役 社会福祉法人や医療機関などとも協力していく。充実した福祉の総合相談窓口を設置したい。障害者の自立を支援していく。
質問 早朝や夜間にも在宅介護サービスを提供するため、ホームヘルパーの具体的な確保策や柔軟な勤務形態を早急に検討せよ。地域住民にもボランティアとして協力を求めよ。
高齢対策部長 ヘルパーの派遣事業などの在宅サービスを拡充していく。介護への関心を高めたい。
質問 健康を維持していくには、年代に応じてスポーツに親しむことが大切だ。体育協会などと協力し、「生涯スポーツ」の振興に努めよ。地域体育館などの整備にも取り組め。
教育長 今後とも、各種事業の充実に努めていく。学校の体育施設などを活用し、区民ニーズに応えていきたい。

次回の区議会定例会は3月2日～27日に開かれる予定です

議決内容の続き

●工事請負契約の締結 2件

- 仮称烏山葬祭会館新築工事 (全員賛成)
- 契約金額Ⅱ三億三七八四万円 工事概要Ⅱ鉄筋コンクリート造地上2階建(式場、ホール、仮安置室、厨房など)
- 建設地Ⅱ北烏山5丁目1
- 仮称文化・生活情報センター新築工事 (賛成Ⅱ自、公、共、社、区、民、無ク、賛成多数 反対Ⅱ改革、行革)
- 契約金額Ⅱ四億二八八二万円 工事概要Ⅱ建築・電気設備・空調調和設備・給水衛生設備・昇降機設備工事(生活工房諸室Ⅱ高層棟の地上2階Ⅱ5階部分、主劇場Ⅱ中層棟の地下2階Ⅱ地上9階部分、小劇場Ⅱ低層棟の地下4階Ⅱ地上4階部分)

●教育委員任命の同意 1件

- 菅沼 邦子(再任) (全員賛成)

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。

●審議が終わったもの

- ◆採択されたもの 1件
 - 芦花公園駅南側千歳通り(南烏山2丁目35、36)の歩道設置に関する請願
 - ―「請願の趣旨に沿うよう努力されたい」との意見が付けられました。
 - ◆取り下げが承認されたもの 4件
 - 仮称希望丘ホール建設並びに葬斎場営業反対に関する請願(船橋6丁目1)
 - 小田急喜多見電車基地騒音排除に関する請願
 - 国立大蔵病院と国立小児病院の統合に関する請願
 - (仮称)稲吉マンション建築反対に関する請願(南烏山1丁目8)

●新しく出されたもの

- ◆企画総務委員会で審査するもの 3件
 - 三宿1丁目地区への複合公共施設用地確保の請願

○自主保育グループの幼児への手当支給に関する陳情

- 世田谷区民健康村「ふじやまビレッジ」のエレベーター設置等に関する請願
- ◆区民生活委員会で審査するもの 5件
- 三宿1丁目商業地域における「法定地区計画」による「建物の高さ制限25メートル」に対する反対の請願
- 環7における交通事故防止等に関する陳情
- 環状7号線羽根木1丁目付近の環境浄化に関する陳情
- 石仏公園の桜の木を保存するための請願
- 国道246号の横断歩道の改善と区から警察に要望書の提出を求める請願(三軒茶屋交差点)

◆福祉保健委員会で審査するもの 5件

- 民間保育園の充実に関する陳情
- 骨粗しょう症検診拡充に関する請願
- 玉川地域に区立特養老人ホームの、新町・桜新町地域にデイホームの建設をもとめる請願
- 年金改善をもとめる請願
- 中町・上野毛地域に高齢者デイホームの建設を求める陳情
- ◆都市整備委員会で審査するもの 11件
- テラス松原(南館・北館)マンション建設による「周辺住環境」の悪影響排除に関する陳情(松原4丁目8)
- 西経堂団地の建て替えに伴う「区道路計画」に対する陳情
- 西経堂団地の建て替えに伴う区道についての陳情
- 西経堂団地建て替えに伴う道路取り付けに関する陳情
- 西経堂団地内船橋児童館前区道の現状維持を懇願する陳情
- 西経堂団地区道の両面化に反対する陳情
- 船橋児童館周辺の緑地及び道路の変更に反対する陳情(同一件名外2件)
- 区立船橋児童館周辺の道路及び周辺環境の変更に関する陳情
- 「都道補助128号線の事業と計画の撤回の措置を求める意見書等」の提出を求める請願
- ◆文教委員会で審査するもの 2件
- ゆとりある教育内容にするため学習指導要領の見直しを早急に実施することの意見書採択を求める陳情
- 小・中学校のすべての宿泊行事に看護婦(士)を必ず同行させる請願
- ◆交通対策委員会で審査するもの 6件
- 京王線複々線連続立体交差化の促進に関する請願(同一件名外3件)
- 宇奈根・喜多見南部両地区の路線バス導入に関する請願
- 小田急線複々線化事業(喜多見・梅ヶ丘間)に関する陳情

原 秀吉議員逝去



原秀吉議員(自民)は、11月21日、心不全のため急逝されました。東京都出身、66歳。

原議員は、昭和50年以来連続5回当選。議長、監査委員、文教・予算・各派交渉委員会の委員長などを歴任され、現在も下水道・国公有地等対策特別委員会の委員長を務められていました。また、自民党区議団の幹事長、政調会長としても活躍されました。

なお、原議員の逝去により、区議会の会派構成は、自民26、公明12、共産5、社会・区ク3、生活ネ3、民社・無ク2、改革派1、行革110番1となりました。

正副委員長の内選

原秀吉下水道・国公有地等対策特別委員長の逝去に伴い、土田正人議員(自民)を委員長に、土橋賢議員(自民)を副委員長に、それぞれ互選しました。



ふるさとせたがや

—あの頃 この頃— 15



今号では、昭和25年の成城学園前駅付近をご紹介します。写真は駅北口です。コートを着た姿を見ると、この街が戦後の混乱期から落ち着きを取り戻したように感じられます。成城は、昔、砦村喜多見と呼ばれ、雑木林が多い荒れた土地でした。関東大震災後、理想の学園都市の建設が小原国芳氏(後の成城学園長)により始められました。開通を予定していた小田急電鉄に現在の場所へ駅を設置する約束を取り付けることで、学園都市構想は一気に進みます。そして、学園の開校や小田急線の開通などともに

人々が移り住み、魅力的な街がつけられていきました。また、街の美観のために生け垣や植栽の徹底を住民同士で申し合わせるなど、先進的な取り組みも行われていました。これを積極的に進めたのが、いち早く移り住んだ民俗学者の柳田國男氏だったそうです。現在、駅周辺は学生でにぎわっていますが、住宅街へ一歩足を踏み入れると、春は桜のトンネルが、秋には銀杏のじゅうたんが、静かなたたずまいを見せています。

◀現在の様子



会派名の変更

「公明党区議団」は、12月5日「公明区議団」に、「民社党・無所属クラブ」は、12月16日「民社・無所属クラブ」にそれぞれ会派名を変更しました。

編集後記

○お正月には、サッカーやラグビー、駅伝など、いろいろなスポーツが行われます。おせち料理を囲みながら、

筋書きのないドラマを演じる選手たちに、熱い声援を送ってみてはいかがでしょうか。区議会に関するお問い合わせは、区議会事務局までお寄せください。TEL(五四三三) 一一一一 FAX(五四三三) 三三〇〇